

ウポポイ
NATIONAL AIINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和4年9月16日

豊平峡ダム50周年記念パネル展を開催します

～『札幌のまちと豊平川と定山渓と共に。暮らしを支える「豊平峡ダム」』～

豊平峡ダムは、運用開始から50周年を迎えました。ダムの担ってきた役割（洪水調節・水道用水・水力発電）を広く市民や観光客の皆様に理解を深めていただくとともに、今後も市民の生活を支え観光拠点の1つとして多くの方に親しんでいただけることを目的にパネル展を開催します。

豊平峡ダムは、昭和36年・37年の洪水を契機に、洪水から守るとともに、人口増加による水道使用量・電力需要に応えるために昭和38年（調査開始）、昭和42年（着工）から建設が始まり、昭和47年に完成し、令和4年に50周年を迎えました。

近年、多発する洪水により事前放流における運用が開始され、益々ダムへの関心が深まる中、改めて完成50周年を迎えるにあたり、地域における豊平峡ダムの持つ意義やその活用について、治水、利水、地域振興等の観点から振り返り、ダムの担ってきた役割を広く市民や観光客の皆様に理解を深めていただくとともに、ダム本体も含め関連施設等の適切な維持管理の重要性を理解いただき、今後も市民生活を支え、観光拠点の1つとして多くの方々に親しんでいただけることを目的に豊平峡ダム及び豊平川水災害のリスクと流域治水に係るパネル展を開催します。

記

開催日時：令和4年9月23日（金）、24日（土） 11：00～19：00

開催場所：チ・カ・ホ 札幌駅前通地下広場 北3条交差点広場（西）

展示概要：豊平峡ダムパネル及び豊平川水災害のリスクと流域治水パネル展示、豊平峡ダム工事記録映像放映、豊平峡ダム四季映像、リーフレット配布など

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

豊平峡ダム管理支所 支所長 北畠 大輔（電話番号 011-598-2621 代表電話）

豊平川ダム統合管理事務所 課長 増田 精治（電話番号 011-583-8110 代表電話）



札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

豊平峡ダム50周年記念パネル展

—札幌のまちと豊平川と定山渓と共に。
暮らしづを支える「豊平峡ダム」。—



豊平峡ダムは、昭和36年・37年の洪水を契機に、洪水から守るとともに、増加する水需要・電力需要に応えるために昭和47年9月に完成し50周年を迎えました。
ダムの担ってきた役割を広く市民や観光客の皆様に理解を深めていただくとともに、
今後も市民の生活を支え、観光拠点の1つとして多くの方々に親しんでいただけることを
目的にパネル展を開催します。

2022 9/23(金・祝) - 24(土)
令和4年
11:00~19:00

チ・カ・ホ 札幌駅前通地下広場
北3条交差点広場(西側)

パネル展示

豊平峡ダムの目的や建設、豊平川の水災害リスクに関するパネルを展示しています。

映像放映

豊平峡ダムの美しい四季や貴重な建設映像、更に豊平川氾濫シミュレーション映像が見られます！

資料展示

豊平峡ダムや周辺観光の詳しい情報がわかります。

主 催

北海道開発局 札幌開発建設部 豊平川ダム統合管理事務所

共 催

札幌市水道局 北海道電力株式会社

協 力

一般社団法人定山渓観光協会 株式会社札幌市リゾート開発公社

豊平峡ダム50周年 記念パネル展

— 札幌のまちと豊平川と定山渓と共に。暮らしを支える「豊平峡ダム」。 —

会場 ご案内

2022年
令和4年
9/23(金・祝) - 24(土)
11:00~19:00

チ・カ・ホ 札幌駅前通地下広場
北3条交差点広場（西側）



豊平峡ダム

豊平峡ダムは、札幌市を洪水から守るとともに、
水需要と電力需要に応えるために建設されました。



[型式]アーチ式コンクリートダム
水圧を支えるようにアーチ型にダムを築いています。



[ダム諸元]

水系及び河川名	石狩川水系 豊平川
ダムの形式	放物線アーチ式コンクリートダム
目的	洪水調節、上水道、発電
ダムサイト地質	新第三期 安山岩溶岩
堤頂高	102.5m
堤長	305.0m
堤体積	285千m³

[貯水池諸元]

流域面積	159.0km²
湛水面積	1.5km²
総貯水量	47,100千m³
有効貯水量	37,100千m³
平常時最高貯水位 (常時満水位)	標高474.88m
最低水位	標高437.68m

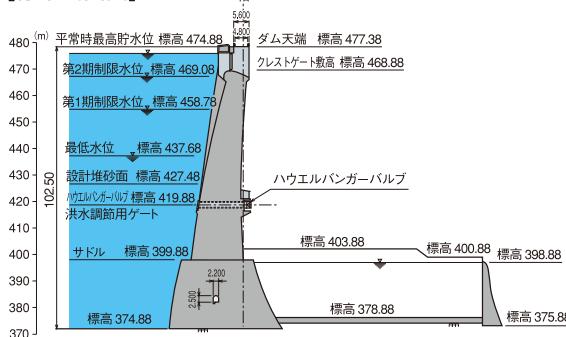
[利水]

上水道取水量(一日最大) 528千m³/日

[発電]

豊平峡発電所 51,900kw(最大出力)

[標準断面図]



[貯水池配分図]



周辺観光地



定山渓温泉街

年間約150万人が訪れる、道内でも人気の温泉地。温泉街に架かる定山渓大橋からの眺めは、見事な紅葉の見ることのできるポイントとなっています。



豊平峡温泉

豊平峡の湯は、日本でも数少ない源泉“100%”かけ流し、さらに札幌市内で唯一貯湯タンクを使わず、地中からの源泉を直接注いでいるため、泉質が変わることなく、効能も高いと評判です。



二見吊橋

二見公園内に位置する、豊平峡とかつば淵を見下ろすことのできる真っ赤な吊り橋です。紅葉の時期になると多くの観光客が集う人気のスポットです。